

第 393 回
日本泌尿器科学会新潟地方会
《 プログラム・抄録 》

日 時：令和 2 年 7 月 25 日（土）午後 2 時 00 分
会 場：ホテルオークラ新潟 4 階 『コンチネンタルルーム』
新潟市中央区川端町 6-53 025-224-6111

次回 第 394 回新潟地方会予告

日時：2020 年 9 月 12 日（土）

会場：未定（長岡市）

演題申込期限：未定

- ※ すべて PC のみの発表とさせていただきます。
- ※ 口演時間は、7 分。討論 3 分（時間厳守）

951-8510 新潟市中央区旭町通 1 の 757
新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野
日本泌尿器科学会新潟地方会
TEL：025（227）2289／FAX：025（227）0784
会長 富田 善彦

1. アパルタミドによる薬剤性肺障害をきたした1例

立川総合病院 泌尿器科
若杉優樹 安藤嵩 諏訪通博 上原徹

症例は86歳男性。2015年12月から前立腺がん(cT3N0M0)に対して内分泌療法を開始され、2018年3月に去勢抵抗性前立腺がんとなっていた。2020年1月20日、PSA 16.3ng/mLでアパルタミド180mg/日の投与が開始され、9日目にCTCAE Grade 3の易疲労感・筋力低下・認知機能低下のため休薬、14日目に当科外来再診時、Grade 2の皮疹が確認された。15日目に呼吸困難感・咳嗽・発熱あり当院救急外来を受診、Grade 3の間質性肺炎と診断され当科入院した。2019年5月の販売開始後、アパルタミドによる間質性肺炎が稀ながら報告されており、本症例の経過を報告する。

2. 持続勃起症の疑いで紹介された陰茎膿瘍の1例

新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 泌尿器科¹⁾
新潟大学医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野²⁾
長谷川素¹⁾、原昇¹⁾、西山勉¹⁾、田崎正行²⁾

80歳男性が2019年11月上旬に高熱で近病院に救急搬送された。胆嚢炎疑いで胆嚢摘除術をうけた(結局は胆嚢炎ではなかったと説明された)。手術時に陰茎の腫脹を指摘され、嵌頓包茎の診断で整復術を受けた。その後も陰茎痛が持続し、勃起状態であったため、持続勃起症の疑いで11月下旬に当科を紹介受診した。陰茎は勃起状態であったが、亀頭は固くなかった。残尿量300mlを認めたため、尿路管理目的に膀胱瘻を造設した。その後も陰茎疼痛が強く、当科転入院した。入院後、陰茎の複数箇所、尿道口から膿が噴出した。膿からCorynebacterium amycolatum/striatumが検出された。膿噴出も落ち着いてきたため、感受性のあるST合剤を処方し外来管理とした。2020年1月、陰茎は全体に癆痕形成と思われる硬結があったが、尿道粘膜は良く保たれていることを確認し、尿道カテーテルを留置し、膀胱瘻カテーテルを抜去した。同年2月尿道留置カテーテルを抜去し、自排尿管理とした。

3. 右精巣癌多発肺転移に対する三次化学療法後の1例

長岡赤十字病院 泌尿器科
晝間楓、鈴木一也、米山健志

症例は44歳男性、検診の胸部レントゲンを契機に指摘された右精巣癌多発肺転移の方。初診時の腫瘍マーカーはHCG 29万mIU/mLと異常高値であり、高位精巣摘除術にてChoriocarcinomaと診断された。BEP4コースおよびTIP4コース後、腫瘍マーカーは正常化、CTはPR判定だった。イリノテカン+ネダプラチン(CPT11+NDP)を2コース追加し、本人の希望で治療を休止した。休薬後六か月が経過し、残存腫瘍を含む明らかな増悪を認めない。

4. 神経疾患に起因した尿閉

亀田第一病院
ピリーム ウラジミル

尿閉は泌尿器科救急で一番頻度高く遭遇する疾患である。神経学的な疾患による尿閉は稀であるが、確定診断、治療しないと生涯的な排尿障害の原因となり、カテーテル管理や自己導尿管管理となるリスクがある。2016年4月から2019年12月まで当院に尿閉で受診された94人(99 episodes)があった。そのうち6人が(男性3人、女性3人、33-66歳、中央値41歳)神経学的疾患による尿閉と診断された。2人は急性散在性脳脊髄症(ADEM)、1人は急性炎症性脱髄性ポリニューロパチー(ADP)、もう1人はADP疑いだが、症状は速やかに軽快したため確定診断に至らなかった。以上4人は当院で加療し、一時的にFoley留置、症状が軽快してからFoley抜去となり、排尿障害はなかった。他2人は他院へ転院となり、1人は急性散在性脳脊髄炎、1人は髄膜炎で、入院加療となった。当院で6.4%の尿閉の患者は神経疾患に起因すると判明した。頻度は高くないが、若年で感冒症状後に骨盤臓器障害がある患者は神経疾患がある可能性が考えられた。神経内科での早期治療が、重症化や排尿障害の遷延を回避する上で重要である。

14:40~15:20

座長 笠原 隆

5. ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法の治療経験

新潟臨港病院 泌尿器科
糸井俊之

昨年12月に過活動膀胱と神経因性膀胱に対しボトックスが保険適応になり、本年度の診療報酬改訂で手術手技にも保険点数がついた。当院では国内第3相試験に参加し切迫性尿失禁を伴う難治性過活動膀胱7症例にボツリヌス毒素治療を施行した。また本年4月より難治性過活動膀胱5症例に施行している。その治療方法、有効性、合併症などについて報告する。

6. 新潟市民病院で同一術者におけるRARPの周術期合併症

新潟市民病院泌尿器科¹⁾ 三条りゅうクリニック²⁾ 済生会三条病院泌尿器科³⁾
三愛会総合病院泌尿器科⁴⁾ 新潟大学医学総合病院泌尿器科⁵⁾
今井智之¹⁾、渡辺竜助²⁾、金子公亮³⁾、田所央⁴⁾、笠原隆⁵⁾、星井達彦⁵⁾、丸山亮⁵⁾、石崎文雄⁵⁾、
星野さや香⁵⁾、富田善彦⁵⁾、安楽力¹⁾、川上芳明¹⁾

2014年8月から2020年6月まで同一術者がおこなったロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘症例は196例、年齢は 66.2 ± 4.9 歳、手術から退院までは最高20日間(平均 8.3 ± 1.5 日)、総手術時間は129~357分(平均 181 ± 35 分)、出血量は最高900g(平均 205 ± 180 g)であった。問題となった周術期合併症として、1st トロカーをオープンで入れる際に結腸損傷を来した例、デノビエ筋膜切開のとき直腸損傷と思って対応した例、射精管を尿管離断と思った例、術後1ヶ月目に尿道出血で来院し吻合箇所部分損傷があった例、術後1週目にドレーンを抜去した後に腹腔内出血でプレシヨックになった例があった。

7. 視野不良例における空気充填膀胱内視鏡検査の経験

会津クリニック
玉木信

外来膀胱内視鏡検査において、高度出血等による観察困難例をしばしば経験する。当クリニックでは、生理食塩液使用の膀胱内視鏡検査において数回の膀胱洗浄にても膀胱内の観察が特に困難な症例に限り、生理食塩液を全回収後100cc程の空気充填による観察を行い、検査直後に空気を全回収して検査を終了している。消化管内視鏡検査の送気に基づく方法であるが、この方法にて良好な視野を得ているため、その経験を報告し検討を加える。

8. 腎出血を契機に診断された後天性血友病Aの1例

柏崎総合医療センター 泌尿器科¹⁾、同 血液内科²⁾、魚沼基幹病院 血液内科³⁾、同 泌尿器科⁴⁾
独立行政法人新潟病院 内科⁵⁾
羽入修吾¹⁾、池田多朗¹⁾、井田桃里²⁾、関義信³⁾、長野央希³⁾、西山 勉⁴⁾、原 昇⁴⁾、長谷川素⁴⁾
小澤哲夫⁵⁾

65歳男性。主訴は肉眼的血尿、右腎部痛。造影CT：右腎血流低下、右腎盂尿管拡張。尿細胞診陰性。PT-INR 1.14、APTT 81.9秒。軟性尿管鏡で腎盂腎杯系の電気凝固を行ったが肉眼的血尿が続き、腎部痛・膀胱タンポナーデを繰り返した。血液内科に併診。第8因子活性<1%、第8因子インヒビター高値から後天性血友病Aと診断。ステロイドと血液製剤で治療を開始。専門医に紹介、エンドキサン[®]の投与により寛解、腎出血は完治した。

《休憩 15:20~15:50》

地方会終了後研究会が予定されています。

第34回新潟泌尿器腫瘍セミナー

OPDIVO™
(nivolumab)

日時
会場

令和2年 7月 25日 (土) 15:50~16:30

ホテルオークラ新潟 4F「コンチネンタル」

新潟市中央区川端町6-53 TEL:025--224-6111

プログラム

座長

西山 勉 先生

新潟大学地域医療教育センター

魚沼基幹病院 泌尿器科 特別名誉顧問

【特別講演】15:50~16:50

演者

富田 善彦 先生

新潟大学特命理事 医歯学総合病院長 (泌尿器科教授)

「がん免疫療法の新展開

— 腎細胞癌を中心に —

」

- ・当日は軽食をご用意しております。
- ・参加費として1,000円徴収させていただきます
- ・本セミナーは日本泌尿器科学会専門医制度 (3単位) が認められております
- ・本セミナーは地方会開催期間中のため、一般参加者の交通手配は行えません。ご了承ください。

Niigata Urology seminar

日時 2020年7月25日(土) 16:40~17:20

会場 ホテルオークラ新潟 4F 『コンチネンタル』

新潟市中央区川端町6丁目53番地
TEL : 025(224)6111

PROGRAM

特別講演 (16:40~17:20)

座長：新潟大学特命理事 医歯学総合病院長
(泌尿器科 教授)
富田 善彦 先生

『腎移植とCOVID-19』

演者：新潟大学大学院 医歯学総合研究科
腎泌尿器病態学分野 准教授
新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科
病院教授
齋藤 和英 先生

共催：日本泌尿器科学会新潟地方会 ノバルティス ファーマ株式会社

研究会参加者健康チェック票

※参加される皆様へ※
ご記入し、研究会当日に
受付へご提出ください

研究会名： _____

日 時： _____

所 属： _____

氏 名： _____

自宅電話番号： _____

このページの

チェック日	温度 (°C)	症 状※									
		朝	咳	のどの 痛み	鼻水・ 鼻詰り	頭痛	下痢・ 腹痛	強い だるさ	息苦しさ	その他	左記 すべて無
1日目	月 日										
2日目	月 日										
3日目	月 日										
4日目	月 日										
5日目	月 日										
6日目	月 日										
7日目	月 日										
8日目	月 日										
9日目	月 日										
10日目	月 日										
11日目	月 日										
12日目	月 日										
13日目	月 日										
14日目	月 日										

チェック表で

はなく9ペー

ジの表をお使

いください。

自ら行った対処 _____ }
（例）〇月〇日医療機関を受診した、〇月〇日に保健所へ連絡した、〇月〇日市販薬を内服した、などを

※ 症状の各項目に、ある場合は○、すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○●付けてください。

令和2年7月14日

日本泌尿器科学会新潟地方会会員 各位

研究会参加者健康チェック表再送につきまして

平素より大変お世話になっております。

7月10日付で、当事務局よりプログラムと一緒に郵送致しました【研究会参加者健康チェック表】について、記載内容及びご説明が不足しており、大変申し訳ございませんでした。

研究会開催に際して、主催者の同表の収集と管理が義務付けられております。

本日、「研究会名」「日時」「チェック日の日付」を追記したものを再送いたしますので、こちらにご記入頂き、**研究会当日に受付へご提出をお願い致します。**

(期日が過ぎている分につきましては、体調に問題がなければ体温は省略して頂いて構いません)

よろしくお願ひ申し上げます。

以上

日本泌尿器科学会新潟地方会会長 富田善彦

〒950-8510 新潟市中央区旭町通1番町757

TEL : 025-227-2289 FAX : 025-227-0784

研究会参加者健康チェック票

研究会名：第393回日本泌尿器科学会新潟地方会

日 時：2020年7月25日（土） 14：00～

所 属：_____

氏 名：_____

自宅電話番号：_____

	チェック日	体温 (°C)	症 状※								
		朝	咳	のどの 痛み	鼻水・ 鼻詰り	頭痛	下痢・ 腹痛	強い だるさ	息苦しさ	その他	左記 すべて無
1日目	7月12日										
2日目	7月13日										
3日目	7月14日										
4日目	7月15日										
5日目	7月16日										
6日目	7月17日										
7日目	7月18日										
8日目	7月19日										
9日目	7月20日										
10日目	7月21日										
11日目	7月22日										
12日目	7月23日										
13日目	7月24日										
14日目	7月25日										

自ら行った対処 { _____ } _____]

(例) ○月○日医療機関を受診した, ○月○日に保健所に連絡した, ○月○日市販薬を内服した, などを

※ 症状の各項目に, ある場合は○, すべて該当しない場合には「左記すべて無」に○を付けてください。